

☆☆☆☆☆一中のきまりと私たちの心得☆☆☆☆☆

生徒が中心となり、みんなが過ごしやすく安心感のある学校を目指す姿として、きまりを作成しました。記載されていない内容でも、一中生として誇りと自覚を持ち、自己判断ができる生活を送りましょう。安心感や学習の妨げ、また社会的に通用しない内容が出てきた場合には、再度ルールを検討し、追加をします。

1 みんなが過ごしやすく安心感のある学校にするために

1人1人の人権を尊重し、自分を大切に、仲間を大切に、周りの人を大切に生活します。

【いじめのスクール憲章】

- 一、みんなが過ごしやすい一中にするために相手の長所を見つけ、仲間の個性を受け入れます。
- 一、みんなを思いやれる一中にするために自分のことだけを考えず、相手のことを考えた言動を心がけます。
- 一、笑顔あふれる一中にするために一人ひとりが協力し合い、自己中心的な行動を慎みます。

2 身だしなみについて

(1) 頭髪について

- 中学生として清潔感があり華美にならず社会的に通用する髪型にする。また、学習に支障が出ない髪型にする。
 - ・上記から外れる場合は、その都度協議しルールを見直していく。
- 脱色や染めることは認めない。
- ピン、ヘアゴムは装飾のない、黒、紺、茶、ベージュ、グレーとする。

(2) 服装について

- 制服は認められたものを着用する。(認められているもの：標準マークの付いた学生服、指定の標準服、ジャンパースカート、スラックス)
- 制服、指定の標準服の下にはYシャツ、ブラウスを着用する。
- Yシャツや半そで体操着になった時には、下着が透けないように配慮する。
- 制服や体操着の下に着るセーターやトレーナーは自分の体の大きさに合ったものにする。色は白、黒、紺、茶、グレーとする。
- 縫い付けの名札は決められた位置に四隅を縫い付ける。クリップ式の名札の場合は校内のみで着用することを推奨する。
- 体操着へ着替える必要がない場合は、制服で過ごす。
- 制服から体操着へ着替える必要がある場合、授業や朝読書に影響がないように見通しをもって体操着に着替える。
- 授業で着替える必要がない日の清掃の服装については、自分で判断をする。
- 熱中症対策で体操着の半袖短パン登校を行う。(期間は状況を見て伝える)
- 下校時の服装は、体操着でもよい。ただし、終日制服で過ごした日は制服とする。
- 暑さや寒さの対策は、決まりを守り、まずは服装面で対策をする。
- 制服、体操着とも正しく着こなす。
- 靴下は白、黒、紺、茶、グレーとする。式典時は、白または黒でくるぶしが隠れるものとする。

3 タブレットについて

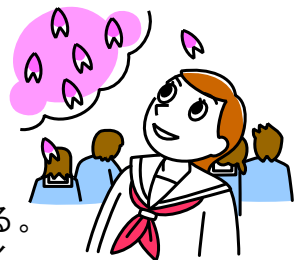
- GIGA宣言をしっかりと守り、学校活動に役立つために使う。
- Air Dropは教師の了承を得てから使用する。
 - ※上記の使用方法を守れない場合は、ルールを見直す。

4 登下校について

- 8時15分までに登校する→5分前登校を心がけ、15分に全校・学年朝会、朝読書を開始する。
- 登校後は校地外に出ない。
- 欠席、遅刻、早退の場合は、必ず担任の先生、学年の先生に連絡する。
 - 欠席、遅刻の場合は、8時15分までに保護者が Google フォームもしくは電話で連絡する。
 - 所要のため早退する場合は、保護者が Google フォームもしくは電話で連絡をし、本人からも担任へ連絡をする。
 - 体調不良で早退の場合は、生徒の安全のため、原則として保護者の迎えとする。
- 登下校の時刻を厳守する。
- 登下校は交通ルールを守り、寄り道や迷惑になる行為は慎むなど、誰もが安心できる姿で行う。

5 自転車通学について

- 自転車通学は地域指定とする。
(さつき野1~4丁目、北上新田、北上、下興野、校区外の生徒)
- 「自転車通学許可願」を提出し、許可を得る。
- 自転車通学生徒は必ずヘルメットを着用する。あごひもで固定する。
- 自転車は定められた自転車小屋(駐輪場)にきちんと整理して置く。
- 自転車は正しく乗り、交通ルールを守る。事故には十分注意する。



6 一中生としての心得

(1) 授業について

- 時間を見て、授業が始まる前には席について準備をする。
- 授業中は私語をせず、集中して学習に取り組む。
- わからないところは進んで質問をしたり、お互いに教え合う。
- 自習時間は進んで学習課題に取り組み、他の人に迷惑をかけたりしない。
- 休憩時間は、次の授業の準備のための時間であることを考えて行動する。

(2) その他

- 学習、部活に必要なもの以外は持ってこない。(お菓子、スマホ、私物のタブレット、ゲーム機等)
- 他学年に用事がある場合は、多目的室を使用する。
- 学校の公共物は大切に扱い、万一破損した場合は後始末をきちんと行い、担任と係の先生に報告をする。
- 必要に応じて水筒・ペットボトル(水・お茶・ｽｰﾌﾟ-ﾌﾞﾗｯｸ)を持参してよい。
- カラオケボックス、ゲームセンター、マンガ・インターネット喫茶等の生徒同士の利用は禁止する。また、保護者同伴であっても入店できない時間帯がある。(新潟市の条例による)
- 友人宅への外泊はできない。(新潟市の申し合わせ事項)
- 刃物・ハサミ等危険物の学校への持ち込みはできない。

校則は実態を見て見直していきます